

養豚場の豚にワクチンを

知事、あらためて国に要望へ

豚コレラ感染受け

かにフェーズが変わったと認識している。これまでも生産者の思いを受け止めて農水省に要望してきたが、より強力に要望することになると思う」と述べた。

ワクチン投与の効果を問われた鈴木知事は「感染を完全に解消できるかは根拠を持って説明できる立場にないが、解決に資する方法だと思う。私の立場としては、やれることは全部やりたい」と述べた。

いなべで900頭殺処分

県職員と自衛官、作業続く

豚コレラの感染が確認されたいなべ市内の養豚場で二十四日、夜通しで豚の殺処分が進められた。二十五日午後三時までに、延べ

約四百六十人の県職員と自衛官が作業に当たり、約九百頭を殺処分した。

農場に防護服を着用して作業せざるを得ないため、県は作業員の熱中症対策を進めている。日中は豚舎での作業を極力避け、養豚場の近くに設けた休憩所にはスポットクーラーを設置している。

一方、豚舎で作業に当たっていた県の男性獣医師が二十五日午後、体調の悪化を訴え、いなべ市内の病院に救急搬送された。男性は軽症。県畜産課は一熱中症かは、今のところ分からない」としている。

また、陸上自衛隊の岸川公彦中部方面総監と鈴木直栄第十師団長が二十五日、いなべ市内を訪れ、作業に当たっている第三十三普通科連隊の自衛官らを激励。鈴木英敏知事、日沖靖市長

する予定。鈴木知事が農林水産省を訪れ、吉川貴盛農水相宛てに要望書を手渡す

豚コレラが発生し、明らかに

という。

農場

で豚コレラが発生し、明らかに

という。

農場

で豚コレラが発生し、明らかに

という。

農場

で豚コレラが発生し、明らかに

という。



定例記者会見で、豚へのワクチン投与を要望する考えを示す鈴木知事（県庁）

いなべ市内の養豚場で家畜伝染病「豚コレラ」の感染が確認されたことを受け、鈴木英敏知事は二十五日の定例記者会見で、養豚場の豚にワクチンを投与するよう、あらためて国に要望すると明らかにした。豚へのワクチン投与に消極的な姿勢を示している国に対し、感染拡大を防ぐ手段として投与を求める考え。「生産者の声を受けて、やれることは全部やりたい」と述べた。

（海住真之）

県が豚へのワクチン投与などから豚への投与には踏を国に要望するのは、二月み切っていない。

県によると、いなべ市内インシシ向けのワクチン散の養豚場で実施している殺処分などの防疫措置が全て完了する三十日以降に要望



豚の埋却作業（県提供）

と面談した。

県は二十八日までに、養豚場が飼育している四千五百頭の豚を全て殺処分する方針。豚の埋設や養豚場の消毒を含めた防疫措置を三十日まで完了させる予定で、八月二十七日の終息を目指す。